

区自立支援協議会の特徴的な取り組み・成果及び今後の計画（令和 2 年 3 月）

区	特徴的取り組み・成果	今後の計画
北	<ul style="list-style-type: none"> ■相談支援事業所連絡会の開催 ▷北区・東区管内の相談支援事業所で情報を共有した。また、ケース検討を行い地域の課題を抽出し、区自立支援協議会でも共有し検討した。 ■グループ別検討会の実施 ▷4つのテーマ（相談支援体制・研修・緊急体制・療育等支援）別に班を編成。それぞれの地域の課題等を検討。少人数でのグループ検討のため、議論が活発となり活性化を図ることができた。 ■研修会の開催 ▷障がい児に関わる関係者と福祉の連携について（R1.11.26） ▷介護保険サービスと障がい福祉サービスの連携について（R2.1.20） 	<ul style="list-style-type: none"> ■相談支援事業所連絡会の開催 ■ケース検討会の開催 ■地域課題解決に向けた、グループ別検討会の開催（前年度からの継続） ■研修会の開催（テーマ未定）
東	<ul style="list-style-type: none"> ■相談事業所連絡会の開催 ▷インシデントプロセス法の試行などによるケース検討をし、個別支援のアイデア出しと地域課題出しを行った。 ■ケース検討会の開催 ▷相談事業所連絡会で検討したケースについて、地域課題を検討した。 ■研修会の開催（R2.1.23） ▷区内の障がいのある児と保護者に関わる職員を対象に、新潟大学有川教授を講師に「保護者との協働に活かす交渉力」をテーマに研修会を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ■相談事業所連絡会の開催 ■相談事業所連絡会と連携したケース検討会の開催 ■小グループに分かれての課題把握及び整理、研修会等の企画（テーマは未定）

中央	<p>■ ケース検討会の開催</p> <p>▷ ケース検討を通じた地域課題の把握と整理</p> <p>■ 8050 実態調査</p> <p>■ 相談支援事業所連絡会の開催</p> <p>■ 虐待対応検討会議の開催</p> <p>■ 就労支援 WG 開催</p> <p>▷ 事業所から事例を提供してもらい、6 月・8 月・10 月・1 月に事例検討会を開催した。</p>	<p>■ ケース検討会の開催</p> <p>▷ ケース検討を通じた地域課題の把握と整理</p> <p>■ 8050 実態調査から見えた課題について検討、個別ケースの検討</p> <p>■ サービス事業所へのアウトリーチによる課題の把握</p> <p>■ 相談支援事業所連絡会の開催</p> <p>■ 虐待対応検討会議の開催</p> <p>■ 就労支援 WG 開催</p> <p>■ 地域生活拠点事業の整備にむけての WG</p>
江南	<p>■ 新規相談支援事業所に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規事業所の開設、維持に向けて協議・検討を重ねた。 ・ 新規相談支援事業所向け勉強会実施 <p>※ 約 1 年 (H30.11~R2.1) の間に江南区内に相談支援事業所が新たに 3 か所開設され、長年の課題が一つ解消した。</p> <p>■ 障がい児支援連絡会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育機関、福祉事業所等参加者による顔の見える関係を構築できた。 <p>■ 「ひきこもり」当事者のリカバリーストーリーを聴く会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当事者 3 名を招き、体験談を語ってもらった。 ・ 当事者の生の声を聴き、今後の支援に向けて貴重な機会となった。 	<p>■ 新たに開設した相談支援事業所が今後事業を維持、継続できるよう注視し、相談支援専門員のスキルアップ等、必要なサポートに努める。</p> <p>■ 教員向けの研修会 (セミナー) を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度構築した連携の土台を基に、さらに連携の輪を広げる。 ・ 教育現場に携わる先生方に対し、関係機関の役割について理解促進をめざす。 <p>■ 今回得た当事者の声を様々な関係機関 (ひきこもりセンター、若者支援センター、若者サポートステーション、基幹相談支援センター、社会福祉協議会等) にフィードバックし、情報共有を図る。そしてお互いの役割を確認し、連携できる部分を共有する。</p>

秋 葉	<ul style="list-style-type: none"> ■ 障がい児支援 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 支援ファイルの配付 放課後等デイサービス利用者を中心に配布 ▷ 「障がい児つながる支援セミナー」の開催 (R1.12.5) 区内小中学校、放課後等デイサービス事業所、相談支援専門員等を対象に支援ファイルについて説明すると共に、連携に向けた情報交換など関係づくりを行った。 ■ 医療と福祉の連携 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 「集いの場」の開催 (R1.9.27) 医療ケア (たん吸引) が必要な障がい児者の家族が集まり、意見交換を行った。 ■ 区相談連絡会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 月に 1 回、区内相談支援専門員が集まりケース検討または勉強会を実施した。 <勉強会> 発達障がい、法律、知能検査等テーマごとに 5 回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 障がい児支援 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 支援ファイルの配付継続・活用方法の周知 ▷ 「障がい児つながる支援セミナー」の開催 (R2 年 7 月上旬開催予定) ■ 医療と福祉の連携 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 「集いの場」の対象者・実施方法について検討及び実施 ■ 区相談連絡会の開催 ■ 地域の移動について <ul style="list-style-type: none"> ▷ 実態把握
南	<ul style="list-style-type: none"> ■ 児童ワーキンググループによる課題検討 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 関係機関合同研修会の振り返りにより次年度の研修会の内容を検討した。 ■ 精神障がいに対する理解を深める機会 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 利用者の体験談を聞き、今までの経験されたことや、病気、障がいに対する思いなど意見交換を行なった。 ■ 南区ケース会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ▷ インシデントプロセス法を用いたケース検討会とサービス事業所との連絡会により実情を共有した。 (今年度新たな取り組み) ▷ グループホームの世話人に対する研修会 ▷ 放課後等デイサービス事業所で放課後児童クラブを交えた意見交換会 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 児童のワーキンググループの継続 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 3 つの課題の検討を継続 ▷ 関係機関合同研修会を令和 2 年 6 月 25 日 (木) 開催予定 ■ 南区ケース会議の実施

<p>西</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■西区がく・ふく連携会議（学齢後期）の開催 ▷令和元年度の特別高等支援学校卒業生について、支援関係者間での情報共有を行った。 ■高齢・医療連携会議の開催 ▷障がいと高齢の連携を深めるため、居宅介護事業者等と合同で障がい者入所施設の視察研修会を行った。 ■相談事業所会議の開催 ▷インシデントプロセス法による事例検討を行った。 ■移動支援ワーキングの開催 ▷西区内の移動支援事業所へ声がけをし、意見交換を行った。 ■研修会等の開催 ▷「セルフアドボカシー」に関する内部研修を開催した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域課題の解決に向けた、各専門会議の開催。 <ul style="list-style-type: none"> ・がく・ふく連携会議 ・地域生活支援拠点等会議 ・高齢・医療連携会議 ・相談支援事業所会議 ■見学会、研修会の実施。
<p>西蒲</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■がく・ふく連携会議の開催 ▷学校・福祉施設・療育支援関係者間で情報共有と関係づくりを行った。進路の状況や事業の受け入れ状況などを共有し、連携に向け取り組んだ。 ■こども支援会議の開催 ▷区内の保育園の園長会議において、児童発達支援や保育所等訪問支援等について説明し、情報交換を行った。 ■西蒲区ケース会議の開催 ▷事例を通じて問題解決の方策を検討、地域課題を参加者で共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ■療育支援会議 <ul style="list-style-type: none"> ・こども支援会議 ・がく・ふく連携会議 ■生活支援会議の開催 ■西蒲区ケース会議の開催